



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.15



～1～4工区の現場状況を紹介します～

◆1～4工区の現場状況紹介

淡路駅付近連続立体交差事業では、事業区間 7.1km を全 8 工区に分割して工事を行っています。今回は、1～4 工区の、現在の現場状況について紹介します。

各工区の紹介は、以前の事業だよりでも概要を掲載していますので、あわせてご確認ください。

※各工区の位置については「事業だより Vol.07(H25.02)」を参照してください。

○1 工区(崇禅寺駅周辺) 前回の掲載 Vol.08(H25.08)

1 工区では仮線への切替が、平成 27 年 1 月に上り線(京都方面行き)、平成 27 年 10 月に下り線(梅田方面行き)の切替が完了しました。これから、仮線への切替により空いたスペース(写真①)へ、高架構造物をつくる工事を進めていきます。

また、写真②でも分かるように崇禅寺駅付近には、大きなコンクリートの柱がたくさん立ちあがってきています。この柱の上に、駅舎をつくっていき最終的には、3 階建て(高さ約 15m)の構造物になります。

○2 工区(崇禅寺駅～淡路駅間) 前回の掲載 Vol.12(H26.12)

2 工区では、阪急電鉄京都線西側の側道を、工事ヤードとして占用して工事を進めています。現在は、高架構造物の基礎工事(地表面からの深さ約 30m)を行う前に、周辺道路や線路へ、地盤沈下などの影響を発生させないように区分するための鋼製矢板の設置を行っています。

鋼製矢板を設置した後に、直上施工機が移動する時に必要な直上施工機基礎を設置すれば、いよいよ直上施工機を使った工事が始まります。

写真③は、直上施工機の上から淡路駅方向の現場状況を撮影したものです。写真④は、鋼製矢板を設置している状況写真です。

1 工区の現場状況



仮線

飛鳥橋踏切



崇禅寺駅

大宮橋踏切

2 工区の現場状況



工事場所

工事場所





発行 平成 27 年 12 月

発行者:大阪市建設局

淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.15



～1～4工区の現場状況を紹介します～

◆1～4工区の現場状況紹介

○3 工区(淡路駅周辺) 前回の掲載 Vol.10(H26.02)

現在 3 工区では、阪急電鉄京都線が都市計画道路 歌島豊里線を越えるための、トラス桁と呼ばれる橋桁を現地で組み立てて、平成 28 年 2 月の架設(橋脚の上に設置)に向けて工事を進めています。※歌島豊里線との位置関係については

「事業だより Vol.01(H23.12)」を参照してください。

また、一小川踏切・国次踏切付近や淡路駅付近で高架構造物をつくる工事を行っています。

写真⑤は、阪急電鉄千里線の柴島駅側から歌島豊里線交差部を撮影した写真です。左手奥側に歌島豊里線と交差するトラス桁が見えます。写真⑥が淡路駅付近(淡路駅東改札より南側)になります。工事場所にあるオレンジ色で円柱状の形のは、高架構造物の基礎を建設する時に使用する水を溜める大きなタンクです。(工事で大量の水を使用するため事前に溜めておきます)

○4 工区(淡路駅～下新庄駅間) 前回の掲載 Vol.13(H27.03)

4 工区では阪急電鉄千里線東側の側道を、平成 27 年 8 月に仮設道路へ切替えました。現在は、それにより空いたスペースへ高架構造物をつくる工事を進めています。

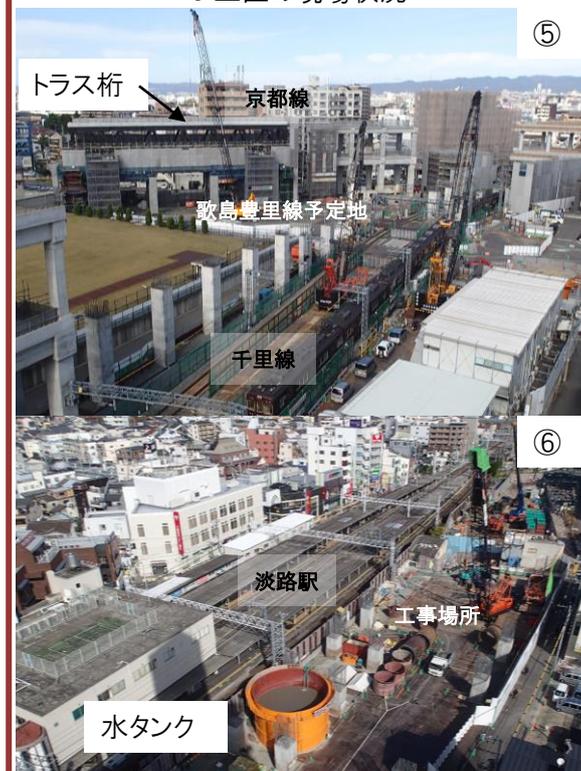
写真⑦は、下新庄駅方向から淡路駅方向を撮影した仮設道路の状況写真です。写真⑧は、淡路駅付近(淡路駅東改札より北側)の工事場所の状況になります。現在は、高架構造物の基礎工事を行っています。

今回は、1～4 工区の現場状況を紹介しました。残りの 5～8 工区については、次回紹介する予定です。

工事現場の周辺は、高架工事が本格化し、工事の進捗により道路の形態などが変わっているところがありますので、注意してご通行ください。

また、工事に伴い何かとご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

3 工区の現場状況



4 工区の現場状況

